

江合・鳴瀬・吉田川流域治水シンポジウムを開催 ～「地域を”みず”から守る」流域治水の実践について議論します～

- 気候変動の影響により激甚化・頻発化している水災害に対応するため、流域のあらゆる関係者が協働で取り組む「流域治水」による対策が急務となっています。
- 大崎地域を水害から守り、地域を持続的に発展させていくために、伝統的な水管理システムにより支えられてきた大崎耕土の歴史文化や生業を踏まえ、地域を“みず”から守る流域治水の実践について、住民や専門家の皆様と議論します。

記

- 日時：令和5年7月5日(水) 13:30～16:50 (受付:13:00～)
- 場所：大崎生涯学習センター パレットおおさき (多目的ホール)
- プログラム
 - ・ 基調講演
 - ・ 情報提供
 - ・ パネルディスカッション

※詳細は別添チラシをご参照下さい。

<発表記者会>

石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所

住所：宮城県石巻市蛇田字新下沼 80

電話：0225-95-0194 (代表)



副所長 (企画) いしい たかのり 石井 貴範 (内線 205)

流域治水課長 もろはし たくみ 諸橋 拓実 (内線 351)

大崎市 建設部 都市計画課

住所：宮城県大崎市古川七日町 1 番 1 号

電話：0229-23-8069



課長 よしめき ゆうや 吉目木 祐也
技術補佐 いとう まさひろ 伊藤 政浩 (内線 3702)

【令和3年開催：「吉田川流域治水シンポジウム」】

- ・ 令和3年11月に開催しました「吉田川流域治水シンポジウム」は、宮城県大崎市鹿島台地域を中心に「流域治水で地域が発展していくために」というテーマで、自分たちは何ができるのか、どんなことをすれば流域治水なのか、という視点で開催しました。その後、吉田川においては、地元土地改良区等が中心となり、地元住民や関係機関と連携しながら流域治水の取組みが進められております。
- ・ また、吉田川及び高城川については、更なる流域治水の推進を図るため、特定都市河川浸水被害対策法に基づく、特定都市河川指定に向けた取組みを開始し、現在、指定に向けた手続きを進めているところです。

【今回開催予定：「江合・鳴瀬・吉田川流域治水シンポジウム」】

- ・ 今回開催する「江合・鳴瀬・吉田川流域治水シンポジウム」は、大崎地域全体に舞台を広げ、伝統的な水管理システムにより支えられてきた大崎耕土における歴史や文化、生業を踏まえて、“地域を持続的に発展させていくために必要な流域治水の実践とは何か”という視点で開催することとしています。
- ・ 鳴瀬川の上流域や支川多田川、名蓋川など、大崎耕土を流れる各河川においても、令和4年7月出水など、これまで度重なる浸水被害を受けてきた地域であることから、本シンポジウムを契機に地域特性等を踏まえた流域治水の更なる推進が図られるよう開催するものです。



江合・鳴瀬・吉田川 流域治水 シンポジウム

地域を「みず」から守る。

平成27年9月関東・東北豪雨



参加無料
要事前申込
先着 **200** 名

開催日時 令和5年 **7月5日(水)**

13:30~16:50
(受付: 13:00~)

会場 **大崎生涯学習センター**
パレットおおさき (多目的ホール)
〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波三丁目4番20号
電話: 0229-91-8611

大崎市役所新庁舎屋内広場
「パタ崎さん家 (ち)」でもライブ中継するよ



プログラム

- 基調講演 「誇りある地域づくりと流域治水の取組について」
講師 **小池 俊雄** 氏 (国立研究開発法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター センター長 (社会資本整備審議会 河川分科会 分科会長))
- 情報提供 「大崎市水害に強いまちづくり共同研究」
解説 茂泉 善明 (大崎市 建設部長)
「吉田川流域・高城川流域における流域治水の取組状況」
解説 齊藤 喜浩 (国土交通省 北上川下流河川事務所長)
「多田川流域における流域治水の取組状況」
解説 舩谷 成幸 (宮城県 土木部 副部長)
- パネルディスカッション 「地域で取り組む流域治水」
コーディネーター **塚原 浩一** 氏 (公益財団法人 リバーフロント研究所 代表理事)
パネリスト
佐藤 翔輔 氏 (東北大学 災害科学国際研究所 准教授)
岩崎 真奈 氏 (合名会社寒梅酒造 5代目蔵元 業務執行社員)
安部 祐輝 氏 (大崎市 世界農業遺産推進監)
コメンテーター **小池 俊雄** 氏 (基調講演に記載のとおり)



YouTube ライブ配信します!
<https://www.youtube.com/live/gpTSSSHy7Xw?feature=share>

問い合わせ先

大崎市 都市計画課 (事務局)
〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号
電話: 0229-23-8069 FAX: 0229-22-9454
Eメール: toshi@city.osaki.miyagi.jp

主催 **江合・鳴瀬・吉田川流域治水シンポジウム実行委員会**
後援 一般社団法人東北地域づくり協会、江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会、
鳴瀬川総合開発促進期成同盟会、北上川下流等流域治水協議会、鳴瀬川等流域治水協議会

開催趣旨

大崎地域では平成27年関東・東北豪雨をはじめ、令和元年東日本台風、令和4年7月豪雨により河川の堤防決壊や越水による甚大な被害が発生しており、流域のあらゆる関係者が協働で取り組む、流域治水による対策が急務となっております。これを受け吉田川流域や多田川流域においては特定都市河川指定を検討するとともに、「大崎市水害に強いまちづくり」共同研究など、流域治水の先駆的な取り組みを行っております。

大崎地域を水害から守り、地域を持続的に発展させていくために、伝統的な水管理システムにより支えられてきた大崎耕土の歴史文化や生業を踏まえ、地域を“みず”から守る流域治水の実践について、住民や専門家の皆様と議論する「江合・鳴瀬・吉田川流域治水シンポジウム」を開催いたします。

プログラム		プロフィール
13:30	開会挨拶 伊藤 康志 (大崎市長)	 講師・コメンテーター 小池 俊雄 氏 ●国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター センター長 (社会資本整備審議会 河川分科会 分科会長) ●社会資本整備審議会 河川分科会 分科会長
13:40	基調講演 「誇りある地域づくりと流域治水の取組について」 講師 小池 俊雄 氏 (国立研究開発法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター センター長 (社会資本整備審議会 河川分科会 分科会長))	
14:40	情報提供 「大崎市水害に強いまちづくり共同研究」 解説 茂泉 善明 (大崎市 建設部長) 「吉田川流域・高城川流域における流域治水の取組状況」 解説 斉藤 喜浩 (国土交通省 北上川下流河川事務所長) 「多田川流域における流域治水の取組状況」 解説 舛谷 成幸 (宮城県 土木部 副部長)	 コーディネーター 塚原 浩一 氏 ●公益財団法人 リバーフロント研究所 代表理事
15:10	休憩	
15:25	パネルディスカッション 「地域で取り組む流域治水」 コーディネーター 塚原 浩一 氏 (公益財団法人 リバーフロント研究所 代表理事) パネリスト 佐藤 翔輔 氏 (東北大学 災害科学国際研究所 准教授) 岩崎 真奈 氏 (合名会社寒梅酒造 5代目蔵元 業務執行社員) 安部 祐輝 氏 (大崎市 世界農業遺産推進監) コメンテーター 小池 俊雄 氏 (基調講演に記載のとおり)	 パネリスト 安部 祐輝 氏 ●大崎市 世界農業遺産推進監
16:45	閉会挨拶 板屋 英治 (国土交通省 東北地方整備局 河川部長)	

プロフィール



講師・コメンテーター

小池 俊雄 氏

- 国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター センター長
- 社会資本整備審議会 河川分科会 分科会長

1985年に東京大学大学院工学系研究科博士課程を修了。その後、長岡技術科学大学教授、東京大学教授を経て同名誉教授。現在は国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長。社会資本整備審議会河川分科会分科会長、日本学術会議会員などを兼任し、専門は河川工学、水環境の科学、環境心理学。



コーディネーター

塚原 浩一 氏

- 公益財団法人 リバーフロント研究所 代表理事

1985年東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻課程を修了後、建設省に入省。東北地方整備局をはじめとして、関東、中国、九州、中部の各地方整備局、本省勤務等を経て、2018年に国土交通省水管理・国土保全局長で退官。現在は(公財)リバーフロント研究所代表理事として活躍。



パネリスト

佐藤 翔輔 氏

- 東北大学 災害科学国際研究所 准教授



パネリスト

岩崎 真奈 氏

- 合名会社寒梅酒造 5代目蔵元 業務執行社員



パネリスト

安部 祐輝 氏

- 大崎市 世界農業遺産推進監

2011年京都大学大学院情報学研究科博士後期課程を修了。東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター・助教、東北大学災害科学国際研究所・助教を経て、2017年より現職の東北大学災害科学国際研究所・准教授に就任。専門は、災害情報、災害伝承、防災・減災に関する啓発。

東北福祉大学総合福祉学部を卒業後、2007年4月に合名会社寒梅酒造に入社、2015年7月に業務執行社員に就任。地域貢献の一助となれるよう「ここに春をよぶお酒」の企業理念の基に清酒醸造、経営運営全般を行っている。今年3月には「おやつ工房 Haruricca」をオープン。

東北大学農学部を卒業後、1996年4月に旧鳴子町役場に入庁。その後、大崎市産業経済部農林振興課長、産業振興局長を経て、2023年4月に現職の世界農業遺産推進監に就任し、世界農業遺産「大崎耕土」の更なる発展と農林振興に取り組んでいる。

事前参加申込書 ★必要事項をご記入のうえ、①郵便 (はがき・封書)、②電話、③FAX、④Eメールにてお申し込みください。

氏名		所属・団体	
住所			

連絡先 (TEL) () -

《申込先》

①郵送先 〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号「大崎市都市計画課」宛
②TEL: 0229-23-8069 ③FAX: 0229-22-9454 ④Eメール: toshi@city.osaki.miyagi.jp

申込締切: 6月16日 (金)